

好摩地区まちづくり計画書

～活気に満ちて魅力あふれるまち・好摩～



(夜更森展望台から好摩駅方面，姫神山を眺める)

平成 27 年 3 月

好摩地区まちづくり協議会

平成 27 年 3 月 18 日（水）開催の臨時総会において承認されました。

1、 計画策定の経緯

盛岡市は平成 23 年 4 月に「盛岡市地域協働推進計画」を定め、地域協働の事業に取り組んでいます。このたび、好摩地区自治会連絡協議会が主体となって、好摩地区において地域協働まちづくりを推進する事としました。本計画策定迄の経緯は次のとおりです。

- 平成 26 年 5 月 8 日 地域協働に関する説明会を実施しました。
 - ・各自治会から 3 名出席し、市の担当課から「地域協働」について説明を受けました。
- 平成 26 年 7 月 29 日 地域協働に関する他地区の取り組み状況を学ぶ会
 - ・好摩地区の 10 自治会の会長が出席し、渋民地区及び巻堀姫神地区の取り組みについて、会長及び事務局員から説明を受けました。
- 平成 26 年 8 月 19 日 地域協働の今後の方向性に関する打ち合わせ会
 - ・好摩地区の 10 自治会の会長が出席し、主体について意見交換しました。既存の団体の機能を拡充して、地域協働の組織づくりをする方向で意見集約しました。
- 平成 26 年 8 月 26 日 地域協働に関する打ち合わせ会
 - ・好摩地区の 10 自治会の会長が出席し、具体的資料に基づき、主体について再度意見交換しました。新たにまちづくり組織を構成することで意見集約し、大まかな取り組み日程などについて検討しました。
- 平成 26 年 9 月 25 日 地域協働に関する打ち合わせ会を行いました。
- 平成 26 年 10 月 1 日 会員に（仮称）好摩地区まちづくり協議会設立総会開催を通知しました。
- 平成 26 年 10 月 14 日 地域協働に関する打ち合わせ会をおこないました。
- 平成 26 年 10 月 19 日 好摩地区まちづくり協議会設立総会を実施しました。
 - ・規約、計画策定事業及び収支予算の承認
- 平成 26 年 10 月 20 日 「地域協働実施地区申込書」を盛岡市長へ提出しました。
- 平成 26 年 10 月 23 日 盛岡市長から「地域協働実施地区の決定について」通知がありました。
- 平成 26 年 10 月 「盛岡市地域づくり計画策定費補助金交付申請書」を提出しました。
- 平成 26 年 10 月 24 日 口座開設をおこないました
- 平成 26 年 10 月 28 日 盛岡市長から、「補助金交付決定」通知がありました。
- 平成 26 年 11 月 5 日 第 1 回好摩地区まちづくり協議会役員会を開催しました。
 - ・当面のスケジュール、ワークショップ及びアンケート調査について
- 平成 26 年 11 月 7 日 補助金の前金払いがありました。
- 平成 26 年 11 月 19 日 第 1 回ワークショップを開催しました。
- 平成 26 年 11 月 26 日 第 2 回ワークショップを開催しました。
- 平成 27 年 1 月 7 日 役員会を開催しました。
- 平成 27 年 1 月 21 日 第 3 回ワークショップを開催しました。
- 平成 27 年 2 月 12 日 役員会を開催しました。

2、ワークショップの状況

◇開催日：平成26年11月19日（水）、11月26日（水）平成27年1月21日（水）

◇場所：好摩地区コミュニティセンター

◇参加者：延べ参加者133名、市民協働推進課 5名×3日

（1回目）

テーマ1 好摩地区はどうあって欲しい（将来像）？どんなことやりたいか？

【将来像】

○「将来像」については、「にぎわい・ふれあい」についての意見が43.0%と最も多くなっています。その中でも「世代間交流」が32.7%と最も多く、次に「元気・にぎわいのまち」、「気軽にくつろげる場の確保」、「人があつまるまち」の順となっています。

「環境・自然」については、16.7%となっています。「豊かな自然」、「交通機関」、「施設」、「土地利用」の順となっています。

「安心・安全」については、15.8%となっています。「子供の安全」、「安全・安心なまち」、「交通安全」、「防災」の順となっています。

「産業」については、10.5%となっています。主な意見は、「働く場の確保」など産業の振興となっています。

「福祉」については、7.0%となっています。主な意見は、「高齢者が暮らし易いまち」となっています。

「教育・文化」については7.0%となっています。主な意見は、「スポーツの振興」となっています。

【どんなことやりたいか？】

○「やりたいこと」については、「にぎわい・ふれあい」についての意見が48.6%と最も多くなっています。その中でも「地域間・世代間交流」についての意見が49.0%と最も多く、次に「イベントなどによる活性化」や「商店街の活性化」、「高齢者等が気軽に集まれる場の確保」、「趣味を生かしたふれあい」の順となっています。

「産業」については、14.3%となっています。主な意見は、企業誘致など「働く場の確保」、「農業後継者の育成」など農業に関する意見など、となっています。

「環境・自然」については、13.3%となっています。「住環境整備」、「道路の美化」、「空地利用」の順となっています。

「福祉」については、10.5%となっています。主な意見は、「高齢者への支援体制」、「子育てがしやすいまち」の順となっています。

「教育・文化」については、8.6%となっています。主な意見は、歴史を知りたいなど「地元学とマップづくり」、「スポーツ」の順となっています。

「安心・安全」については、4.7%となっています。「見守り」、歩道設置などの「交通安全」、防火対策の「防災」の順となっています。

テーマ2 好摩地区の好きなところ、いいところはどんなところ？

○「環境・自然」についての意見が 58.0%で最も多くなっています。その内容は、「岩手山や姫神山が見えること」、「景観が良い」、「自然が豊か」、「空気がおいしい」などの「自然景観」についての意見が 55.2%で最も多くなっています。

次に、「交通の便が良い」が 23.0%、「公共機関や生活関連施設がそろっている」などが 20.7%の順となっています。

「にぎわい・ふれあい」についての意見は、18.7%となっています。「人情」、「やさしい人が多い」、「助け合い」、「サロンが活発」、「温かさ」などの「ふれあい」関係の意見が 89.3%、その他は「体育施設の整備で人があつまる」の順となっています。

「安心・安全」について意見は、8.0%となっています。「こわいと思うことが少ない」、「災害が少ない」などの「安全安心」と「スクールガード」や「安全パトロール」などの「見守り」がそれぞれ 41.7%となっています。

「教育・文化」についての意見は、6.7%となっています。「歌碑など啄木関連」、「スポーツ施設」、「神社」の順となっています。

「産業」についての意見は、4.6%となっています。「豊富でおいしい農産物」、「直売所」の順となっています。

「福祉」についての意見は、4.0%となっています。主な意見は、「医療、老人施設がある」となっています。



(1回目のワークショップの状況)



(2回目)

テーマ 好摩地区の問題点と課題は？

○「にぎわい・ふれあい」についての意見が 43.7%と最も多くなっています。その中でも「商店街の活気」についてが、27.9%と最も多く、次に「少子高齢化」、「地域間・世代間交流」、「地区の情報の提供」、「老若男女が気軽にくつろげる場の確保」の順となっています。

「環境・自然」については、27.2%となっています。「空き家、空き地、跡地利用」、「公園、子供の遊び場の整備」、「運賃が高い」、「市街化区域と調整区域の見直し」、「無料駐車場の整備」、「電車の運転本数の増」の順となっています。

「産業」については、13.6%となっています。「働く場の確保」、「農業の活性化」、「地域の個性化(名物の創造)」の順となっています。

「安全・安心」については、9.4%となっています。主な意見は、「歩道が狭い、不備」、「暗い夜道(街灯の設置)」、「防火用水路の整備」などとなっています。

「福祉」については、7.0%となっています。主な意見は、「高齢化への対応」、「福祉の充実」となっています。

「教育・文化」については、1.9%となっています。主な意見は、「啄木関連や伝統文化関連のイベント」となっています。



(2回目のワークショップの状況)

(3回目)

1回目と2回目のワークショップでの意見やアンケート調査の結果などを参考に、「好摩地区がどのようにあればよいか班ごとにテーマを設定し、そのテーマを実現するためには、具体的にどのような取り組みが考えられるか」について意見交換を行いました。

班ごとの主な意見は、次のとおりです。

◆好摩に人が集まってくるようにしたい。テーマを「活気に満ちて魅力あふれる街・好摩」と設定した。「思い」は、「人を引き付ける魅力ある街にしていく」、「ちょっと歩いて、何でもできる街」です。具体的な取り組みとしては、「安心・安全なくらしができる見守り隊」、「魅力ある住みやすいところに」、「環境の整備（自由に遊べる場所,集える場所）」、「中学校の校庭を一部開放してほしい」、「喫茶店があればよい」など。

商工会や農協の協力を得て、月に1日の「市日」を設定してはどうか。季節に応じたイベントや夜のイベントがあるといい。全体に情報を広める必要がある。駅などにチラシがあるといい。

◆テーマを「誰もが安心して暮らせるまち」と設定し、「自然が豊かな街づくり」、「にぎわいのある街」、「福祉」、「世代間交流」について具体的な取り組みの意見交換を行いました。「自然が豊か・・・」では、花壇の整備や水芭蕉公園の活用。活気あるまちづくりについては、いかに外から人を呼び込むか。そのためには、産直、フリーマーケット、案内板の設置が必要。人の集まる場所づくりが必要で、岩手町では、「町の駅」を作っている。他のアイデアを検討する必要がある。「福祉」については、世代交流、好摩の歴史を学ぶ機会を作してほしい。このことから発展して、スタンプラリー、ウォーキング教室が考えられる。イベントを企画する場合、いろんなところを巻き込んで実施したらどうか。地元の商店を利用したらどうか。「ホルモン食堂の復活」、目玉的なものがほしい。

◆テーマを「魅力あるまちづくり」と設定し、「駅前通りの活性化」、「世代間交流確保」、「若者達が興味を持てるイベント」について具体的な取り組みの意見交換を行いました。

駅前通りの活性化を図るための具体的な取り組みは、農協婦人部による「市日」、フリーマーケットなどを開催し、駅前に人を集める。ホルモン屋さんの復活。ガソリンスタンドから駅前通りの歩行者天国を検討してはどうか。軽トラ市の開催。世代間交流は、趣味や娯楽を交えながら取り組んではどうか。若者が興味をもつようなイベント、婚活などを考えてはどうか。若者が定着すると、街が活性化する。

◆テーマを「好摩の日の設定」とする。狙いは、人々の交流（多くの人に参加できる。）、活性化、好摩の魅力再発見。地区体育館やコミセンを利用し、10月か11月に実施してはどうか。

イベントは、作品展示、合唱、写真コンテストなどの「芸術・文化」、一度来たらまた来たくなるような「お楽しみ」、出店、野菜の販売などの「食文化」で構成してはどうか。地域の名所マップを作成し、地域のPRを。

◆テーマを「にぎわいを創出する」と設定し、「元気な高齢者」、「稲荷神社のまつり」、「商店街の活性化」、「農業体験」について具体的な取り組みの意見交換を行いました。

商店街の活性化のためには、好摩独自の店が必要。小中学校と地域の連携が必要。農業体験では、黒ひら豆のジェラード、ケーキ、キッシュ等々のスイーツの開発を検討してはどうかとの意見があった（現在やっている工房に手伝ってもらおう。）。

◆テーマを「人を集めるためには」と設定し、「駅前再開発」について意見交換を行いました。

好摩の良い所をインターネット（ホームページ）を使って発信する。隠れた見どころマップの作成などのPRをする。

人を集めるためには、駅前の再開発が必要。カフェや喫茶店、無料駐車場も必要。商店街の復活、いろんなイベントを行う。

*どの班のテーマも「にぎわい・ふれあい」関連でした。

(3回目のワークショップの状況)



3. アンケート調査の結果

■問の内容については、ワークショップで出された意見を基に作成したものです。

○ 問4「好摩地区のいいところ」に「そう思う」と答えた方の人数、%及び人数の多い順位と「これからも大切と思う（3つまでの複数回答）」と答えた方の延べ人数、%及び人数の多い順位

一 般						
順位	内 容	そう思 う(人)	%	これからも 大切(人)	%	順位
1	岩手山や姫神山が見え、自然が豊かで景観が良い	92	94.8	16	7.7	4
2	老人施設がある	79	81.4	2	0.9	15
2	スクールガードや安全パトロールの見守りがある	79	81.4	13	6.2	7
4	水や空気がおいしい	72	74.2	5	2.4	13
5	犯罪が少なく安心なまちである	68	70.1	31	14.8	2
6	歌碑など啄木関連施設がある	63	64.9	2	0.9	15
7	こわいと思うことが少ない	60	61.9	0	0.0	20
8	おいしい農産物が豊富である	57	58.8	1	0.5	17
9	住みやすい	55	56.7	11	5.3	8
10	高齢者が仲よく生活している	52	53.6	5	2.4	13
11	やさしい人が多い	50	51.5	1	0.5	17
12	小中学生が元気である	48	49.5	11	5.3	8
13	災害が少ない	47	48.5	10	4.8	10
14	歴史のある神社がある	44	45.4	0	0.0	20
15	交通の便が良い	43	44.3	15	7.2	5
15	医療機関、介護機関が充実している	43	44.3	37	17.7	1
15	隣近所が助け合っている	43	44.3	14	6.7	6
18	人情のあるまちである	39	40.2	1	0.5	17
19	直売所が多い	34	35.1	0	0.0	20
20	公共機関や生活関連施設がそろっている	31	31.9	19	9.1	3
21	スポーツ施設が充実している	30	30.9	8	3.8	11
22	スポーツ施設の整備で、にぎわいが出てきた	19	19.6	7	3.3	12
計				209	100.0	

児 童 ・ 生 徒						
順位	内 容	そう思 う(人)	%	これからも 大切(人)	%	順位
1	自然が豊かで、景色がきれいでよい	79	89.8	26	13.1	1
2	駅があり、便利でよい	77	87.5	21	10.5	4
3	近所に病院があるのでよい	76	86.4	12	6.0	7

4	お年寄りのために施設があるのでよい	69	78.4	11	5.5	9
4	登下校の時、地域の人たちが見守ってくれるのでよい	69	78.4	19	9.6	5
6	やさしい人が多いのでよい	68	77.3	10	5.0	10
7	犯罪や災害が少ないのでよい	67	76.1	25	12.6	2
7	地域に神社があるのでよい	67	76.1	3	1.5	14
9	歌碑など啄木に関係するものがあるがよい	65	73.9	5	2.5	11
9	児童・生徒が元気でよい	65	73.9	5	2.5	11
11	スポーツを楽しむ場所があるのでよい	61	69.3	24	12.1	3
12	災害の時、地域で助け合いができているのでよい	59	67.0	19	9.6	5
13	郵便局、学校、お店などがまとまってあるのでよい	56	63.6	12	6.0	7
14	おいしい農産物が、たくさんとれるのでよい	44	50.0	7	3.5	13
計				199	100.0	

○ 問5「好摩地区の課題」に「そう思う」と答えた方の人数、%及び人数の多い順位と「解決しなければならない（3つまでの複数回答）」と答えた方の延べ人数、%及び人数の多い順位

一 般						
順位	内 容	そう思う(人)	%	解決しなければ(人)	%	順位
1	高齢者が増えている	86	88.7	7	3.5	11
2	少子高齢化が進んでいる	85	87.6	9	4.5	10
2	商店街に活気がない	77	79.4	28	14.0	1
4	働く場が少ない	75	77.3	21	10.5	3
5	電車の運賃が高い	72	74.2	18	9.0	4
6	歩道が少ない、また、狭い	65	67.0	23	11.5	2
7	福祉の充実した地域づくりが課題だ	63	65.0	14	7.0	6
8	農業の活性化が必要だ	62	63.9	6	3.0	13
9	街灯が少なく、夜道が暗い	58	59.8	16	8.0	5
10	老若男女が気軽にくつろげる施設（場所）がない	54	55.7	11	5.5	8
11	空家、空地、跡地利用が課題だ	53	54.6	14	7.0	6
12	公園、子供の遊び場が少ない	49	50.5	7	3.5	11
13	道路が狭くて、危険だ	44	45.3	11	5.5	8
14	無料駐車場がほしい	37	38.1	3	1.5	15
15	市街化区域と調整区域の見直しが必要だ	36	37.1	1	0.5	17
16	地域間・世代間の交流が少ない	33	34.0	6	3.0	13
16	地域情報の提供が少ない	33	34.0	3	1.5	15
18	伝統文化関連のイベントが少ない	25	25.8	1	0.5	17
19	啄木関連のイベントが少ない	21	21.7	1	0.5	17
計				200	100.0	

児童・生徒

順位	内 容	そう思 う(人)	%	解決しなけ れば(人)	%	順位
1	子供達が少なくなっている	59	67.0	20	9.9	4
2	名物がない	57	64.8	11	5.5	11
3	イベントが少ない	55	62.5	12	5.9	7
4	街灯が少ない	54	61.4	33	16.4	1
5	気軽にくつろげる施設・場所がない	53	60.2	30	14.9	2
6	お年寄りが多くなっている	51	58.0	12	5.9	7
6	公園や子供の遊び場が少ない	51	58.0	26	12.9	3
8	歩道が少なく、狭い	46	52.3	15	7.4	5
9	地域の情報が少ない	40	45.5	12	5.9	7
10	子供からお年寄りまでのふれあい活動が少ない	36	40.9	12	5.9	7
11	商店街に元気がない	33	37.5	15	7.4	5
12	空家・空地が多くなっている	25	28.4	4	2.0	12
計				202	100.0	

○ 問6「好摩地区にどのような活動や施設があればよいか」について選択された内容の延べ人数と%（複数回答）

一 般

順位	内 容	あてはまる番号 全てに○印(人)	%
1	近くで働ける場所	54	11.8
2	商店街の活性化	49	10.7
2	子育てをしやすいまちづくり	49	10.7
4	高齢者への支援（例：雪かきなど）	38	8.3
5	歩道設置などの交通安全活動	35	7.6
6	空家や空地の利用活動	33	7.2
7	高齢者等が気軽に集まれる施設（場所）	31	6.8
8	農業後継者の育成	28	6.1
9	スクールガードや安全パトロールで子供達の見守り活動	26	5.7
10	スポーツに親しむ活動	21	4.6
11	イベントによる活性化	20	4.3
11	趣味を生かしたふれあい	20	4.3
13	地域間・世代間交流	15	3.3
14	道路の清掃など住環境の整備	14	3.0
14	防火などの防災活動	14	3.0
16	地元をもっと知るためのマップや資料，看板づくり	10	2.2
17	地域活動には参加したくない	2	0.4
計		459	100.0

児童・生徒			
順位	内 容	あてはまる番号 全てに○印 (人)	%
1	趣味を生かし、ふれあいができる活動	52	8.3
2	イベントを行って地域を元気づける活動	49	7.8
3	火事や災害が起こった時に手助けをする活動	48	7.7
4	空家や空地を利用した活動	47	7.5
5	歩道をつくるなどの交通安全のための活動	46	7.4
6	道路の掃除など生活をしているところの環境を良くしていくための活動	44	7.0
7	スポーツに親しむ活動	41	6.5
7	お店が元気になるような活動	41	6.5
9	お年寄りの手助けをする活動 (例：雪かきのお手伝いなど)	39	6.2
10	地域同士、子供からお年寄りまでのふれあい活動	36	5.7
10	お年寄りなどが気軽に集まり、ふれあいができる施設 (場所)	36	5.7
12	地元をもっと知るためのマップや資料、看板を作る活動	35	5.6
13	スクールガードや安全パトロールで子供達の見守りをする活動	34	5.4
14	近くで働ける場所	29	4.6
15	子育ての手助けをする活動や場所の提供	27	4.3
16	農業の跡継ぎを育てる活動	24	3.8
計		628	100.0

*自由記載から抜粋

(一般)

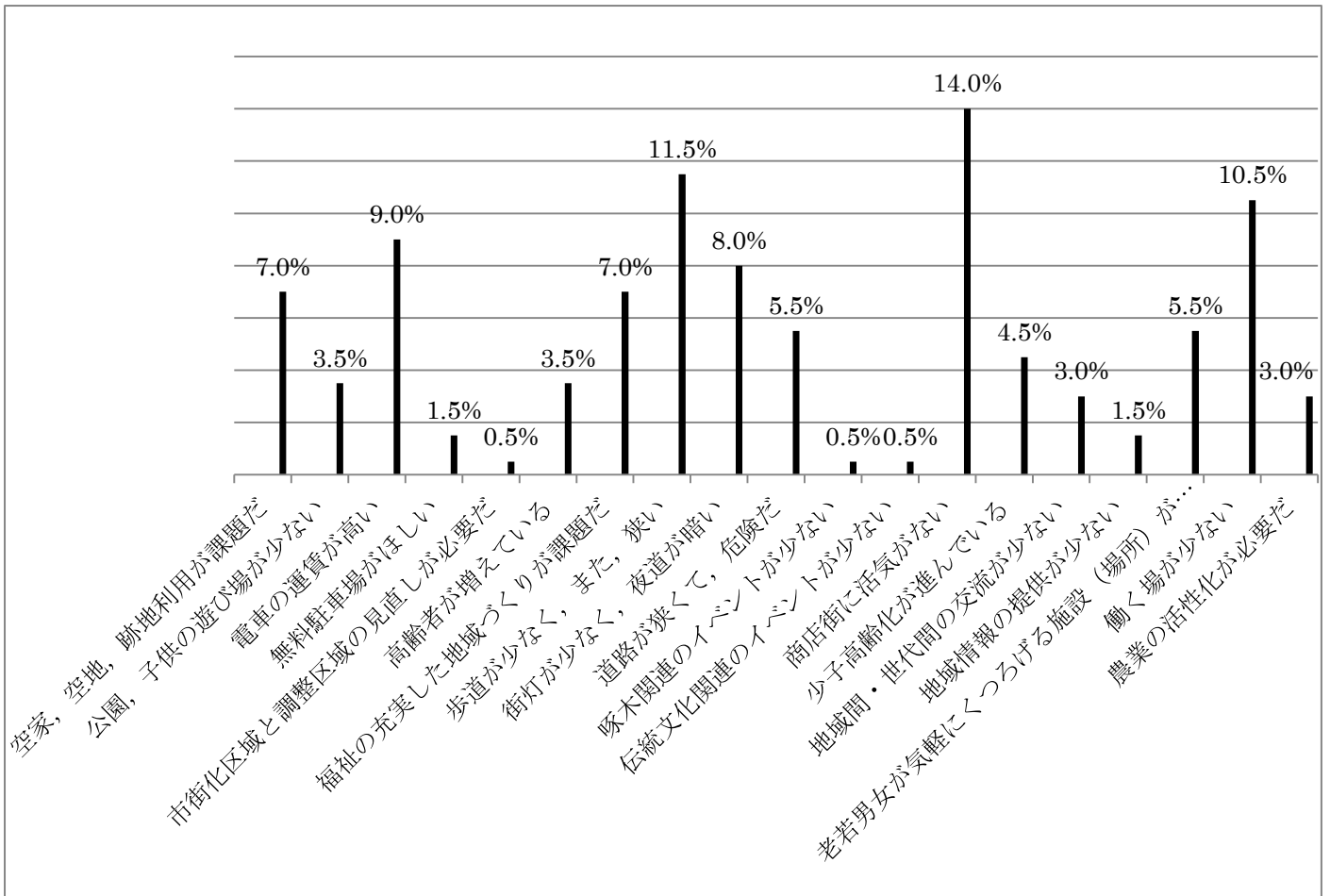
- ・好摩で家を建てたくても土地が見つからず、渋民へ行ってしまいました。(女・30代)
- ・住みたい、子育てしたいと思うようなまちづくりをして頂きたい。(男・30代)
- ・交差点に信号機がほしい。(男・40代)
- ・退職シルバーさん、得意な事や技術を活かして地域でも活躍してほしい。(女・40代)
- ・街が一望できる高台がある。(男・50代)
- ・老いてきて、自分から気軽に出かけられる所がほしい。(女・60代)
- ・空き地利用されるよう働きかけてはどうか。地区で組織で申請しては？(男・70代)

(児童・生徒)

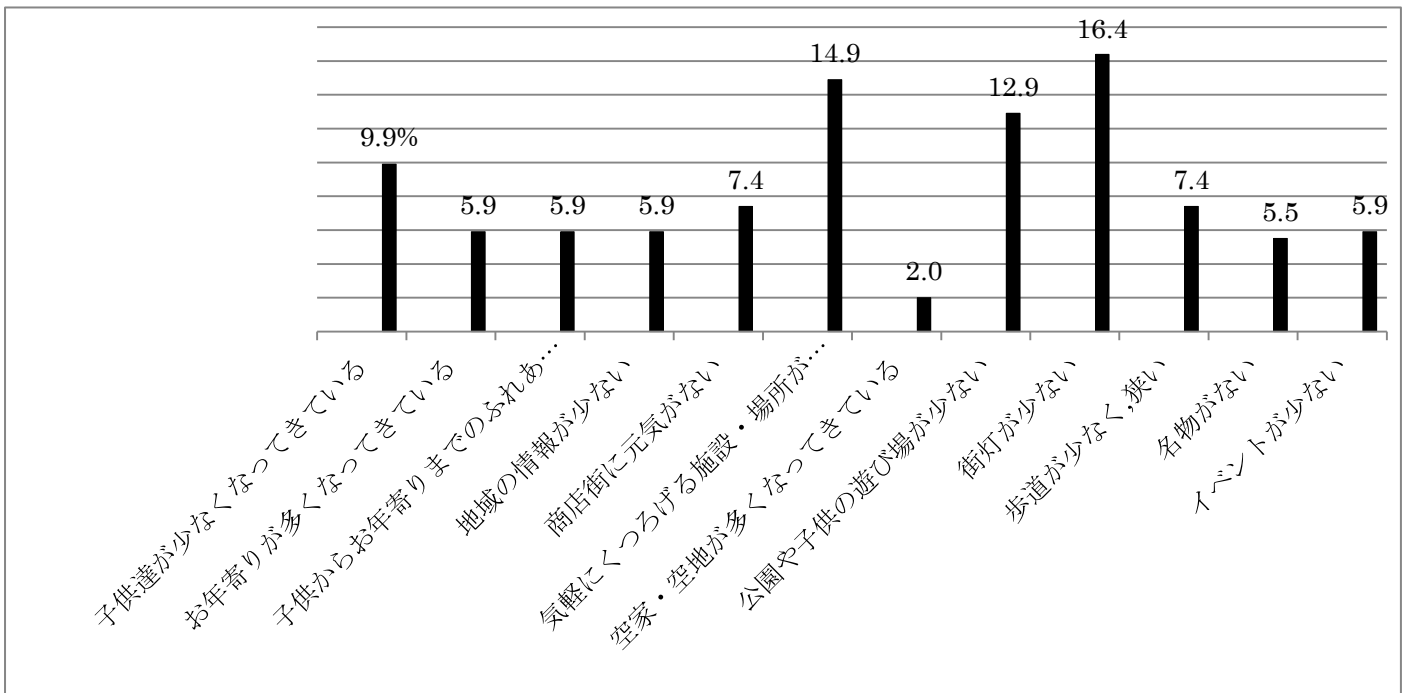
- ・自然が豊かなところが好き。(男・小6)
- ・地域の人たちがやさしい所が好き。(女・小6)
- ・よく事故がある所への信号機設置。(男・小6)
- ・もっとお店を増やしてほしい。(女・中2)
- ・下校している時、外がとても暗いのもっと街灯を増やしてほしい。(女・中2)
- ・遊び場とかが少ないので増やしてほしい。(男・中2)

*アンケート調査の結果(「問：解決しなければならないと思う」と答えた項目の割合(複数回答))

一般：97人の回答



児童（好摩小6年生）・生徒（巻堀中2年生）：88人の回答

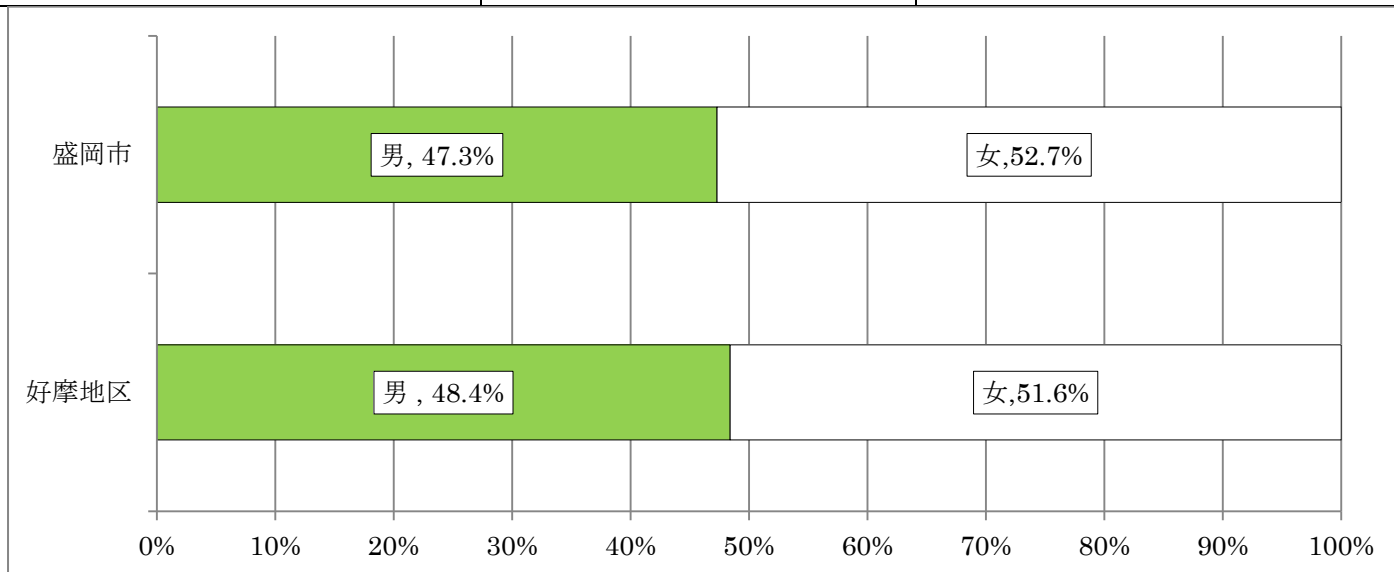


1 地区の概要

(盛岡市ホームページより抜粋。一部推計)

(1) 人口と世帯数 (平成 26 年 9 月末日現在 住民基本台帳)

区 分		好 摩 地 区	盛 岡 市
人 口	総 数	4, 2 7 7 人	2 9 5, 1 4 2 人
	男	2, 0 6 8 人	1 3 9, 5 2 1 人
	女	2, 2 0 9 人	1 5 5, 6 2 1 人
世 帯		1, 6 5 1 世帯	1 3 2, 0 3 3 世帯



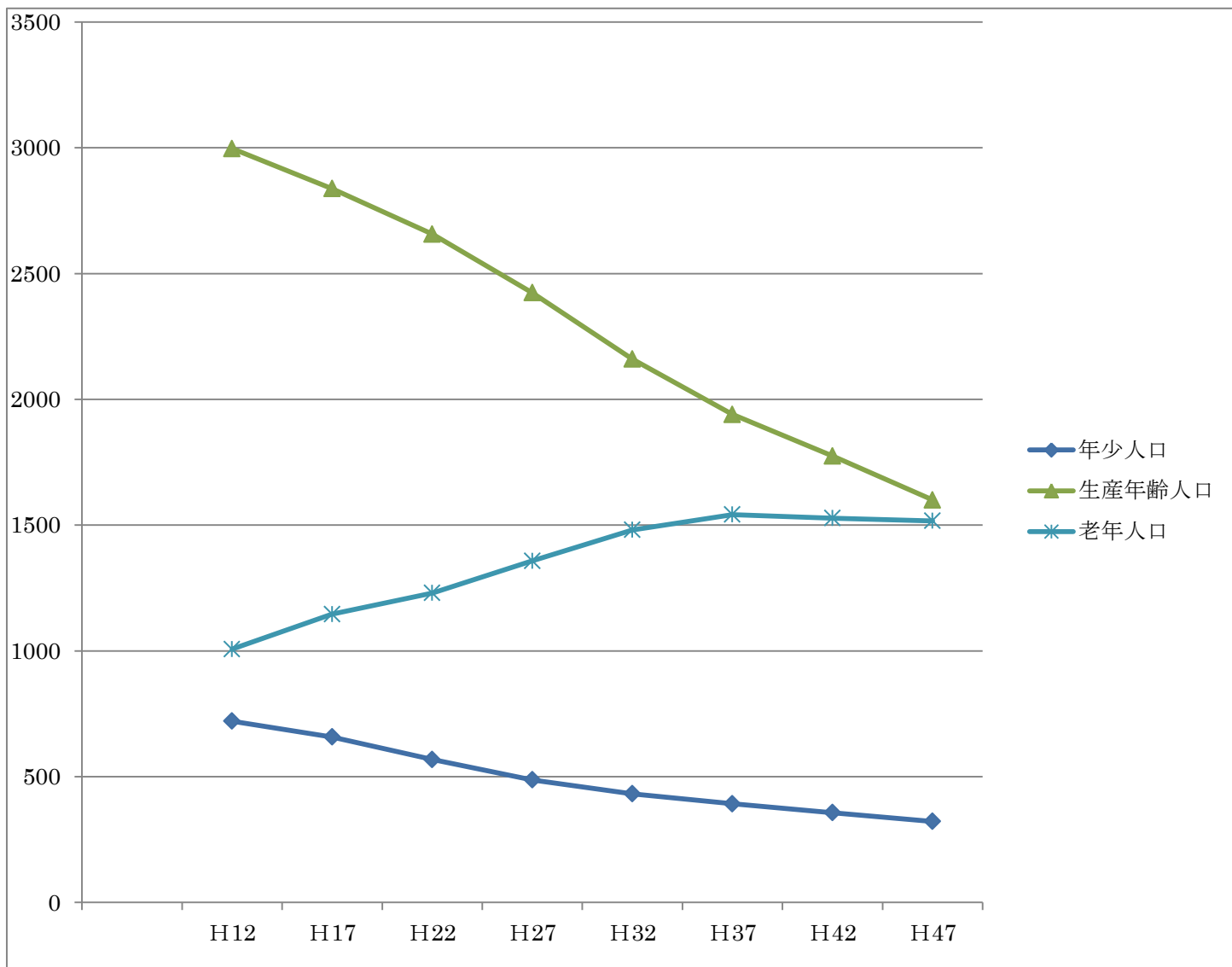
(2) 年齢階層別人口 (平成 26 年 9 月末日現在)

区 分	好摩地区	構成比	盛岡市	構成比
年少人口 (0～14 歳)	5 1 0 人	11.9%	3 8, 6 6 7 人	13.1%
生産年齢人口 (15～64 歳)	2, 5 4 1 人	59.4%	1 8 5, 4 3 8 人	62.8%
老年人口 (65 歳以上)	1, 2 2 6 人	28.7%	7 1, 0 3 7 人	24.1%
合 計	4, 2 7 7 人	100.0%	2 9 5, 1 4 2 人	100.0%

3) 好摩地区年齢階層別人口の推移と推計 (盛岡市まちづくり研究所平成20年度研究成果)

(単位：人)

区分	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
年少人口 (0~14歳)	721	658	568	487	432	392	357	322
生産年齢人口 (15~64歳)	2,997	2,838	2,657	2,424	2,160	1,940	1,775	1,600
老年人口 (65歳以上)	1,007	1,146	1,230	1,358	1,481	1,542	1,528	1,517
合計	4,725	4,642	4,455	4,269	4,073	3,874	3,660	3,439



*国勢調査人口を基にしているため、住民基本台帳人口とは異なります。

(4) 地区内で活動する団体

好摩地区内では、多くの団体が活動しています。

1) 自治会

(順不同)

No.	名 称
1	松内自治会
2	大台自治会
3	小袋自治会
4	好摩1自治会
5	好摩2自治会
6	芋田向1自治会
7	芋田向2自治会
8	野中自治会
9	好摩東自治会
10	芋田自治会

2) 自治会以外の主な団体

(順不同)

No.	名 称	No.	名 称
1	盛岡市好摩地区公民館	13	盛岡市立好摩幼稚園／P T A
2	玉山地域包括支援センター	14	盛岡市立好摩小学校／P T A
3	盛岡東警察署好摩駐在所	15	盛岡市立巻堀中学校／P T A
4	巻堀地区民生児童委員協議会	16	好摩保育所／保護者会
5	盛岡市交通指導隊第5地区隊	17	好摩児童館／父母の会
6	盛岡市消防団第25・27分団	18	盛岡商工会議所玉山支所
7	好摩地区福祉推進会	19	好摩商店会
8	盛岡市きれいなまち推進員好摩地区	20	好摩振興会
9	盛岡市保健推進員好摩地区	21	好摩郵便局
10	好摩地区交通安全防犯協会	22	新岩手農業協同組合好摩支所
11	好摩地区老人クラブ協議会	23	岩手銀行(株)好摩支店
12	盛岡市立好摩小学校スクールガード	24	I G Rいわて銀河鉄道(株)設備管理所

5) 名所, 史跡, 公共施設等 (順不同)

1) 名所, 旧跡 等

①名所, 旧跡

夜更森展望台と啄木の歌碑, 駒形神社, 森崎稻荷神社, 釜崎遺跡,

②自然

岩手山と姫神山の景観, 松川

2) 公共施設 等

盛岡市巻堀出張所, 盛岡市好摩地区公民館, 盛岡市就業改善センター, 盛岡市好摩体育館, 盛岡市立好摩テニスコート, 盛岡市立好摩相撲場, 玉山地域包括支援センター, 盛岡東警察署好摩駐在所, 盛岡市立好摩幼稚園, 盛岡市立好摩小学校, 盛岡市立巻堀中学校, 好摩保育所, 好摩児童館, IGRいわて銀河鉄道(株)好摩駅, IGRいわて銀河鉄道(株)設備管理所

3) 伝統芸能・祭・イベント 等

松内神楽, 大台念仏剣舞, 駒形神社例大祭, 森崎稻荷神社祭, 啄木の里ふれあいマラソン大会, 好摩地区大運動会, 好摩地区盆野球大会, 好摩人まつり, 好摩ふれあいまつり, 敬老会, 感謝祭, 世代間交流, ふれあい市

(好摩地区大運動会)



(啄木の里ふれあいマラソン大会給水所開設)



2. 地区の現状と課題

(1) 地区の現状

好摩地区は、かつての好摩ヶ原に東北本線と花輪線の結節点である好摩駅を中心に発展してきたまちです。昭和50年代、農村への工業導入が推進され、好摩地区においても、大きな民間企業が誘致されました。このことにより若者の流入・定着が図られた時期もありました。しかし、企業の撤退などにより、生産年齢人口（15～64歳）、年少人口（0～14歳）の人口減が見られるようになりました。また、年少人口と生産年齢人口の割合は、全市より低く、老年人口の割合は高く、高齢化が進んでいる地区となっています。

好摩地区の日常の地域活動は、10の自治会が単位自治会ごとにあるいは合同で、また、10の自治会で構成されている福祉推進会を中心に行われています。

平成26年11月に好摩地区まちづくり協議会が主催したワークショップで出された意見を基に作成し、実施したアンケート調査の結果によると、「好摩地区のいいところ」と答えた方が多かった項目の順位は、一般の方々の場合では「岩手山や姫神山が見え、自然が豊かで景観がよい（94.8%）」、「老人施設がある（81.4%）」、「スクールガードや安全パトロールの見守りがある（81.4%）」、「水や空気がおいしい（74.2%）」、「犯罪が少なく安心なまちである（70.1%）」などとなっております。

児童（好摩小学校6年生）・生徒（巻堀中学校2年生）の場合では、「自然が豊かで、景色がきれいでよい（89.8%）」、「駅があり、便利でよい（87.5%）」、「近所に病院があるのでよい（86.4%）」、「お年寄りのための施設があるのでよい（78.4%）」、「登下校の時、地域の人たちが見守ってくれるのでよい（78.4%）」などとなっております。

このように、評価の高かった項目については、既に取り組んでいる事業の場合は、その継続を図り、維持・保全に努める必要があると思われまます。

(2) 地区の課題

今回のアンケート調査で課題として挙げられた項目は、次のとおりとなっております。

「好摩地区の課題」と答えた方が多かった項目の順位は、一般の方々の場合では、「高齢者が増えている（88.7%）」、「少子高齢化が進んでいる（87.6%）」、「商店街に活気がない（79.4%）」、「働く場が少ない（74.2%）」、「電車の運賃が高い（74.2%）」などとなっております。

児童・生徒の場合では、「子供達が少なくなっている（67.0%）」、「名物がない（64.8%）」、「イベントが少ない（62.5%）」、「街灯が少ない（61.4%）」、「気軽にくつろげる施設・場所がない（60.2%）」などとなっております。

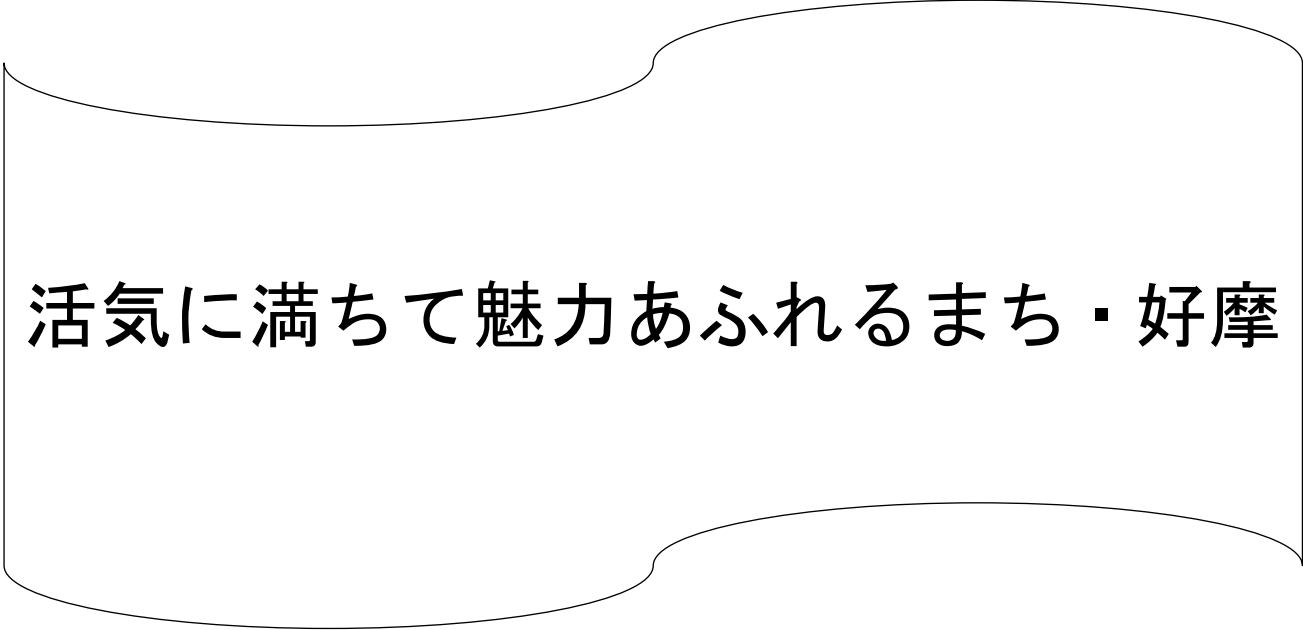
また、「好摩地区にどのような活動や施設があればよいか（複数回答）」について答えが多かった項目の順位は、一般の方々の場合では、17項目中、「近くで働ける場所（11.8%）」、「商店街の活性化（10.7%）」、「子育てをしやすいまちづくり（10.7%）」、「高齢者への支援（例：雪かきなど）（8.3%）」、「歩道設置などの交通安全活動」などとなっております。

児童・生徒の場合では、16項目中、「趣味を生かし、ふれあいができる活動（8.3%）」、「イベントを行って地域を元気づける活動（7.8%）」、「火事や災害が起こった時に手助けをする活動（7.7%）」、「空き家や空き地を利用した活動（7.5%）」、「歩道をつくるなどの交通安全のための活動（7.4%）」などとなっております。

課題として挙げられたことを解決するためには、地域を取り巻く少子高齢化という状況を勘案しながら、既に取り組んでいる事業の継続と拡大や新規の事業への具体的な取り組みについて検討する必要があります。

3 地区の将来像

(1) スローガン



活気に満ちて魅力あふれるまち・好摩

(2) 活動テーマ

当協議会の活動を進めていく上で、これまでのまちづくりワークショップで出された意見やアンケート結果を分析しました。その結果、活動テーマを6分野に区分して設定し、活動を進めることとします。

6分野は次のとおりです。



【自然環境の分野】 (活動テーマ)「自然が豊かなまち」

一般の方を対象としたアンケート調査の結果では、94.8%の方が「好摩地区のいいところ」と答えている項目は、「岩手山や姫神山が見え、自然が豊かで景観が良い」となっています。岩手山や姫神山が見え、自然が豊かな景観の保全と夜更森公園や水芭蕉公園の整備を目指します。

【生活利便性の分野】 (活動テーマ)「ちょっと歩いて、何でもできるまち」

公共交通機関があり、駅を中心とした徒歩圏内には、金融機関、郵便局、市役所出張所、地区公民館、地区体育館、病院、介護施設、幼稚園、小中学校、保育所など生活関連施設も揃っているという利便性の維持・向上を目指します。

【福祉・保健の分野】 (活動テーマ)「思いやりと助け合いのまち」

一般の方を対象としたアンケート調査の結果では、「これからも大切と思う(複数回答)」と答えた方が最も多かった項目は、「医療機関、介護機関が充実している」となっています。

福祉・保健の分野がますます充実されることを期待し、「思いやりと助け合いのまち」を目指します。

【安全・安心の分野】 (活動テーマ)「安心して暮らせるまち」

一般の方を対象としたアンケート調査の結果では、「犯罪が少なく、安心なまちである」という項目の回答が多くなっています。児童・生徒対象のアンケート調査の結果も、同様の結果となっています。一方、交通安全や防犯施設については、少ないという項目の回答が多くなっています。役割分担に基づき、施設整備の促進や見守り活動の継続に努め、さらに、「誰もが安心して暮らせるまち」を目指します。

【教育・文化の分野】 (活動テーマ)「魅力あふれるまち」

好摩地区の魅力の再発見と創造で、魅力あふれるまちを目指します。

【にぎわい・ふれあいの分野】 (活動テーマ)「活気に満ちたまち」

一般の方を対象としたアンケート調査の結果では、「解決しなければならない」と答えた方が最も多かった項目は、「商店街に活気がない」でした。「活気に満ちたまち」の再生を目指します。

4. 事業計画

6つの分野の活動テーマに基づき、事業実施主体を「地域」、「地域と行政」、「行政」などに役割分担をし、好摩地区のまちづくりを進めていくこととなりますが、事業実施にあたりましては、地域が主体となり、行政の支援を頂きながら実施していきます。現在取り組んでいる活動と今後考えられる計画を6分野毎に整理しました。平成27年度に中長期の視点にたって見直しを行い、中長期の活動計画を提示していきます。なお、既に取り組んでいる活動も含んでいますが、各主体部門での活動は今迄通り推進していきます。各分野における取組み（課題を含む）を次のとおりとし、4月より行動計画を作成して実施していきます。

- ① 自然環境の分野（自然が豊かなまち）
 - イ. 花壇の整備（花いっぱい運動の参加）
 - ロ. 水芭蕉公園の整備・夜更森公園の整備
 - ハ. 自然豊かな景観保全
 - ニ. 植樹の手伝いと管理
- ② 生活利便性の分野（ちょっと歩いて、何でもできるまち）
 - イ. 子供会による資源ゴミ回収
 - ロ. 好摩駅の公衆トイレ掃除
 - ハ. ゴミ分別指導, 集積所の維持管理
 - ニ. 公共施設等の点検及び整備具申（除排雪作業・道路沿いの水路掃除等）
 - ホ. 好摩駅無料駐車場の検討（乗降客増に向けて）
 - ヘ. 働く場創出の検討
- ③ 福祉・保健の分野（思いやりと助け合いのまち）
 - イ. スノーバスター
 - ロ. 認知症, 介護予防教室・こころのケア研修会
 - ハ. シルバーメイトの活動
 - ニ. 健康相談・集団検診手伝い・献血手伝い・街頭献血の呼びかけ
 - ホ. 買い物支援
 - ヘ. 赤い羽根, 歳末助け合い募金
 - ト. 救急救命講習会・食生活改善推進
 - チ. 介護・福祉・健康・医療等の相談
 - リ. 一人暮らしの高齢者の見守り
 - ヌ. ウォーキング教室, スタンプラリーの実施
- ④ 安全・安心の分野（安心して暮らせるまち）
 - イ. スクールガード等見守り隊活動
 - ロ. 街灯の整備促進・通学路除雪等歩道の安全確保
 - ハ. 避難訓練・火災予防訓練
 - ニ. 交通安全・防犯喚起・子供110番のぼり旗設置
 - ホ. 自主防災組織化の推進
 - ヘ. 道路の清掃（缶拾い）・草刈り・地区内の草取り

⑤ 教育・文化の分野（魅力あふれるまち）

- イ. 啄木の里ふれあいマラソン大会の給水所の開設とコース沿道の草刈
- ロ. 青少年スポーツ・学芸成績優秀者称賛会
- ハ. 軽体操で楽しくリクレーション・ニュースポーツ大会
- ニ. 駒形神社・森崎稻荷神社例大祭
- ホ. 小・中学校と地域の連携（小5 農業体験・中学生と寿大学交流）
- ヘ. 好摩地区の歴史を学ぶ
- ト. 小・中学校地域合同運動会やさんさ踊り等での交流
- チ. 学校等施設の活用

⑥ にぎわい・ふれあいの分野（活気に満ちたまち）

- イ. 地区運動会・地区盆野球大会・好摩人まつり
- ロ. 敬老会・感謝祭・新年会・年祝い・寿大学・
- ハ. ふれあい交流（給食会・座談会・サロン・餅つき相かい・夕涼み会等
- ニ. 世代間交流会（農業・気軽に集まれる場の提供）
- ホ. 自治会だよりの発行
- ヘ. 空き地・空き家の活用・ガイドアップの作成
- ト. 市日の検討・ガイドマップの作成
- チ. 地域農産物を利用した商品開発

*中長期の行動計画を次の表のようにまとめて取り組んでいきます。

活動内容	実施時期(開始時期)						役割分担	
	既存	H27	H28	H29	H30	H31 ~	地区	行政
【自然環境の分野】自然が豊かなまち								
花壇の整備	○	○	○	○	○	○	○	
水芭蕉公園の整備	○	○	○	○	○	○	○	
夜更森公園の整備	○	○	○	○	○	○	○	○
植樹の手伝いと管理			○	○	○	○	○	
自然豊かな景観保全			△	△	○	○	○	○
【生活利便性の分野】ちょっと歩いて、何でもできるまち								

◆規約

○好摩地区まちづくり協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、好摩地区まちづくり協議会（以下「本会」という。）と称する。

(活動区域)

第2条 本会は、別表に掲げる区域（以下「活動区域」という。）を対象として活動するものとする。

(目的)

第3条 本会は、地域住民や地域の各種団体等の相互の連携の下、好摩地区の課題解決と掲げる将来像の具現化を目指すことを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 地域の課題解決に向けたまちづくりに関する事業の企画、実施及び調整に関すること。
- (2) その他、本会の目的達成に必要な事項に関すること。

(組織)

第5条 本会は、活動区域内の団体、企業等又は個人のうち、本会の目的に賛同し、参加を希望するもの（以下「会員」という。）で構成する。

(役員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2名

2 必要に応じて、会長は、顧問を委嘱することができる。

(役員を選任)

第7条 役員は、総会において会員の中から選任する。

(役員職務)

第8条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合は、あらかじめ定めた順序に従い、その職務を代理する。

3 理事は、必要な会務を司る。

4 監事は、本会の会計及び業務の執行状況を監査する。

(役員任期)

第9条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じたときは補充することができる。ただし、補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

3 新たな役員が選任されるまでの間は、役員は継続してその職務を遂行するものとする。

(総会)

第10条 総会は、会長が招集する。

- 2 総会の議長は、会長とする。
- 3 総会は、年1回以上開催し、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 規約の制定及び改廃に関する事
 - (2) 事業計画に関する事
 - (3) 予算及び決算に関する事
 - (4) 地域づくり計画に関する事（字句の修正等軽微なものを除く。）
 - (5) 役員を選任に関する事
 - (6) その他、会長が必要と認める事
- 4 総会は、委任状を含めた構成員の過半数をもって成立する。
- 5 議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 6 本条第3項に掲げる事項のうち、緊急を要する事項については、役員会の議決をもって総会の議決に代えることができる。

(役員会)

第11条 本会に役員会を置き、役員をもって構成する。

- 2 役員会は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。
- 3 役員会は、次に掲げる事項について審議する。
 - (1) 総会に付すべき事案に関する事
 - (2) 本会の運営に関する事
 - (3) 前条第6項に掲げる事項に関する事
 - (4) その他、会長が必要と認める事
- 4 役員会は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(専門部会)

第12条 会長は、本会の運営上必要があると認めるときは、専門部会を置くことができる

- 2 専門部会の組織、運営及びその他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第13条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長を置き、事務局長は理事の中から会長を選任する。
- 3 事務局長は、本会の業務を司る。
- 4 事務局の組織、運営及びその他必要な事項は、会長が別に定める。

(会計)

第14条 本会の経費は、会費、負担金、補助金、助成金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年の3月31日に終わる。

(委任)

第15条 この規約に定めるもののほか、本会の運営に関して必要な事項は、役員会に諮って会長が別に定める。

附 則

- 1 この規約は、平成26年10月19日から施行する。
- 2 平成27年3月31日までの間においては、第7条の規定にかかわらず、必要に応じて会長が役員会に諮って役員を選任することができる。

3 平成 27 年 3 月 31 日までに選任される役員の任期は、第 9 条第 1 項の規定にかかわらず、同日までとする。

4 平成 26 年度の会計年度は、第 14 条第 2 項の規定にかかわらず、平成 26 年 10 月 19 日から平成 27 年 3 月 31 日までとする。

好摩地区まちづくり協議会役員・顧問・会員

順不同

役職	氏名	所属団体等	備考
会長	高橋 龍次	芋田自治会会長，好摩地区自治会連絡協議会会長	発起人代表
副会長	高田 秀雄	好摩東自治会会長，好摩地区自治会連絡協議会副会長	発起人
副会長	藤井 幸夫	野中自治会会長，好摩地区福祉推進会会長	発起人
理事	上石 利夫	芋田向 1 自治会会長	発起人
理事	伊五澤 吉衛	好摩 2 自治会会長	発起人
理事	石川 俊雄	芋田向 2 自治会会長	発起人
理事	岩崎 邦夫	好摩地区老人クラブ協議会会長	
理事	金谷 純一	好摩 1 自治会会長，盛岡市交通指導隊第 5 地区隊副地区隊長	発起人
理事	佐藤 ヒサヨ	巻堀地区民生児童委員協議会主任児童委員	
理事	高橋 清之	盛岡市立巻堀中学校校長	
理事	武田 セツ子	好摩保育所所長	
理事	舘澤 卓宏	盛岡市立好摩小学校校長	
理事	中田 実知代	玉山地域包括支援センター所長	
理事	米田 二郎	好摩振興会会長	
監事	岩崎 要悦	大台自治会会長，好摩地区自治会連絡協議会監事	発起人
監事	高橋 忠三郎	小袋自治会会長，好摩地区自治会連絡協議会監事	発起人
事務局 長	岩崎 実努理	松内自治会会長，好摩地区自治会連絡協議会事務局 長，好摩地区交通安全防犯協会会長	発起人
顧問	高橋 和夫	盛岡市議会議員	
顧問	佐藤 千賀夫	盛岡市議会議員	
会員	村里 義雄	岩手銀行（株）好摩支店支店長	
会員	藤原 進一	好摩郵便局局長	
会員	小野寺 正彦	盛岡市立好摩幼稚園園長	
会員	嶋 佳美	盛岡市立好摩幼稚園 P T A 会長	
会員	中村 直紀	盛岡市立好摩小学校 P T A 会長	
会員	遠藤 友美	盛岡市立巻堀中学校 P T A 会長代理副会長	
会員	中屋 謙二	I G R いわて銀河鉄道株式会社設備管理所所長	
会員	千葉 洋平	好摩保育所保護者会会長	
会員	阿部 由美子	好摩児童館館長	
会員	岩崎 江美子	好摩児童館父母の会会長	

会員	佐々木 敏明	好摩地区公民館館長
会員	千田 賢一	盛岡東警察署好摩駐在所所長
会員	民部田 功子	盛岡市保健推進員好摩地区地区長
会員	柳田 勇	盛岡市きれいなまち推進員好摩地区地区長
会員	高橋 和子	巻堀地区民生児童委員協議会副会長
会員	古川 英夫	盛岡市消防団第 27 分団分団長
会員	千葉 進	好摩商店会会長
会員	四戸 勝美	J A新岩手農業協同組合好摩支所支所長



二宮尊徳像



石川啄木

好摩を愛し、慈しんできた好摩地区民一人ひとりが主役となり、報徳思想の「一円融合」の精神に基づき、又、啄木の郷土を思う心を持って「活気に満ちて魅力あふれるまち・好摩」を創ろう。

*一円融合とは、一つの円の中で全てのものが働きあい一体となった時に結果出る。つまり、意味のない否定をしないで、皆が力を合わせて一つになる事の重要性を説いたものです。